

# 保護者会連合会だより

平成25年3月13日 No. 2

今年度もいよいよ年度末、寒かった冬も少しずつ暖くなり、  
一步一步春が近づいてきます。

さて、今年度も保護者会連合会の行事を無事に終えることが  
できました。「子どもたちの最善の利益」を目的として活動をしてま  
いりました今年度の活動報告をさせていただきます。



## 一年を振り返って

益田市保育研究会保護者会連合会  
会長 西村満大（緑ヶ丘保育所）

おかげさまで平成24年度の保護者会連合会も無事事業を終えようとしています。連合会会長としての役目も残りわずかですが、名残惜しい気持ちもありますが、年度当初は色々分からないことも多く、不安な部分も多かった気がします。

連合会の会長としてのスタートは過去の事業の勉強から始めました。毎年メンバーが違う連合会役員会ですが、その年ごとにいろいろなアイデアを詰め込んだ事業を行っていました。子供たちの為に、育児の為に、親子の為になど過去のメンバーさん達が真剣に連合会事業に取り組んだ資料などを眺めると、私自身のモチベーションも上がり、やってみたいことも見えてきました。

ほぼ初対面だった連合会役員メンバーとも、役員会、その後の懇親会と回を重ねるうちに距離も近くなり、毎回真剣な中でも楽しい役員会を行うことが出来ました。保護者会連合会の他に、メンバーそれぞれが各園の保護者会の会長、副会長だったりもするので、お互いの園のことや、保護者会の話など、時間の許す限り色々な会話や、のみニケーションを楽しんだことも良い思い出となりました。

今年行った主な事業は、保護者へのアンケート、そのアンケートを基にした益田市への要望書、万葉公園で行った『おやこでさんぽ』、講演会『叱ったあとの「ひと言」で子どもが変わる』などで、それぞれに今年度の私達なりのアイデア、想いを盛り込んで企画、運営を行ってきました。中でも『おやこでさんぽ』は思い入れが深く、ここ最近では行っていなかった、屋外事業に多くの時間を費やしました。

屋外でのイベントは雨天時対策等、多くの課題が伴います。ですが、テレビや本などでは分からないことを、子供たちの五感を通じて多くの体験、経験をしてほしかった想いがありました。それと日々忙しい中で、家族で公園に行って遊ぶ機会も減ってきていると思います。この『おやこでさんぽ』を通して、外遊び、公園遊びの楽しさを体感して、それと同時に子供たちの身体的な成長の一助となればと思い企画しました。イベント当日は心配していた天候も味方して、最高のおさんぽ日和となり、子供、大人ともに思い出深い一日になったと思います。

最後にこの一年、子供たちの笑顔のため、より楽しい子育てが行えるように、役員メンバーとともに悩みながら連合会を運営してまいりました。この保護者会連合会事業にご支援、ご協力を賜りました保護者会員の皆様をはじめ、益田市保育研究会の先生方、事務局の檜谷さん大変お世話になりました。そして活動を共にしてきた保護者会連合会の役員、顧問のみんな、一年間おつかれさまでした！

## 要望書提出

平成24年10月26日

益田市保育研究会保護者会連合会  
会長 西村満大

今年度も益田市内認可保育所の保護者を対象にアンケート調査を実施し約700件の回答を頂きました。益田市保育研究会及び保護者会連合会ではこのアンケート結果を集計、下記のように生の声をまとめ、益田市へ要望書として提出いたしました。

### 要望趣旨

本市におかれましては、かねてより保育行政に鋭意努力され、子ども達と私達保護者に対しまして格別のご配慮を頂き、深く感謝申し上げます。

これまで、私たち益田市保育研究会保護者会連合会では、毎年全保育所利用者を対象にアンケートを実施し、子育て世代の声を市政に届ける活動を続けて参りました。その中で、経済環境の悪化を起因として子育て世代の置かれている環境が年々厳しい状況となっていると感じています。

共働き家庭の増加により、年間の出生数は増えていないにもかかわらず保育所を利用する家庭の割合は年々増加しています。そして、多くの保護者が不安定な就労状況の中で、将来に対する大きな不安を抱えながら子育てをしています。

子どもは地域に活力を与え、未来の益田市を担う存在です。こうした現状にご理解を頂き、益田市次世代育成支援計画の基本理念として謳われる「家庭と職場と地域、社会全体で子育ての喜びを分かち合える益田。生まれた喜び、愛される幸せの実感を、次の世代につなげる益田。」を実現するために、子育て環境の改善に向けて、一過性の対策ではなく継続的なご支援をお願いいたします。

### 要望事項

#### 一 益田市認可保育所保育料負担金額等の軽減

- ・基準額表の階層区分の細分化をお願いします。

#### 二 安心して産み育てることのできる医療体制の確保

- ・誰もが安心して妊娠・出産・子育てができるよう、医療体制の確保をお願いします。

#### 三 安心して仕事と子育てができる社会環境の整備

- ・安心して仕事と子育てを両立できるよう、差別や偏見のない労働環境となるよう事業所等への積極的な啓発活動をお願いします。
- ・若い世代の就業相談や就労支援等への対策強化をお願いします。

#### 四 公共施設の整備・充実

- ・災害時の保育所からの避難経路の早急な整備と通学路の整備への対応をお願いします。
- ・公共施設への授乳室・子ども用トイレの整備をお願いします。

#### 五 放課後児童クラブの整備・充実

- ・放課後児童クラブの開所時間の延長をお願いします。
- ・未設置地域における新規設置やクラブの増設をお願いします。

#### 六 保育所職員の処遇改善

- ・各保育所職員の処遇改善を目的とした運営補助への対応をお願いします。

平成24年10月26日  
益田市保育研究会保護者会連合会  
会長 西村 満大

## 要望回答書

平成 24 年 12 月 14 日

益田市長 山本 浩章  
(子育て支援課)

子育てを取り巻く環境は、少子化や核家族化の進展、長引く経済不況による雇用環境の悪化等、非常に厳しい状況にあります。子どもたちがすくすく育っていくためには、子育てに関する経済的支援、多様な保育サービス等の確保、一人ひとりを大切に育む取組み等、子育て世帯の負担を減らし子育てしやすい環境を整備することが必要です。

引き続き、次世代育成支援計画の基本理念である「男性も女性も、家庭も職場も地域も社会みんな子育てのよろこびを分かち合い、そして生まれた喜び、愛される幸せの実感を、次の世代につなげる」の実現に向けた取組みを進めてまいります。

### 1 益田市認可保育所保育料負担金額等の軽減

- ・基準額表の階層区分の細分化をお願いします。

○保育料の軽減につきましては、次世代育成支援行動計画の重点課題のひとつとして検討しているところですが、平成 24 年度保育料基準表の見直しには至りませんでした。引き続き、保護者の負担感が大きいと思われる、保育料基準表の所得税階層区分 4 万円未満世帯 (D1 階層) の細分化等、検討してまいります。

### 2 安心して産み育てることのできる医療体制の確保

- ・誰もが安心して妊娠・出産・子育てができるよう、医療体制の確保をお願いします。

○医療体制の確保につきましては、最重要課題として、地域医療対策室を中心に、様々な施策に取り組んでいます。益田赤十字病院では、平成 24 年 4 月から産婦人科常勤医師が 3 名となり、5 月に分娩制限が解除されました。しかしながら、里帰り分娩の再開には至っておりません。医師確保については厳しい状況が続いていますが、引き続き、市民の皆様と力を合わせ、医療体制の確保に取り組むとともに、医師が住みたいと思う益田を目指します。

### 3 安心して仕事と子育てができる社会環境の整備

- ・安心して仕事と子育てを両立できるよう、差別や偏見のない労働環境となるよう事業所等への積極的な啓発活動をお願いします。
- ・若い世代の就業相談や就労支援等への対策強化をお願いします。

○労働環境につきましては、産業支援センターを中心に、雇用推進協議会、商工会議所等とも連携しながら啓発を進めます。

○若い世代の就業相談や就労支援等につきましては、母子家庭自立支援事業として、就労につなげる相談・支援、高等技能訓練促進給付金の支給等、引き続き着実に実施してまいります。

### 4 公共施設の整備・充実

- ・災害時の保育所からの避難経路の早急な整備と通学路の整備への対応をお願いします。
- ・公共施設への授乳室・子ども用トイレの整備をお願いします。

○通学路等の整備につきましては、今年 4 月以降、登下校中の児童や保護者を巻き込んだ痛ましい事故が全国で相次いでいることを受け、市内小中学校の通学路について、危険箇所等の調査を実施したところです。調査結果を基に、関係機関等による現地調査等実施し対応を検討いたしております。国道、県道についても必要な整備を要望してまいります。

○平成 24 年度は、益田運動公園のトイレ 2ヶ所につきまして、バリアフリー化を実施する予定です。

- ・多目的トイレの機能設置：ベビーシート、ベビーチェアの設置
- ・障がい者に優しい環境整備：トイレまでの進入スロープの整備

今後も、公共施設の整備にあたりましては、子育て世代に配慮した対応をまいります。

## 5 放課後児童クラブの整備・充実

- ・放課後児童クラブの開所時間の延長をお願いします。
- ・未設置地域における新規設置やクラブの増設をお願いします。

○平成 23 年度から、午後 6 時 30 分まで延長利用ができます。また、土曜日や長期休業日等の朝 8 時からの開所については、対応可能なクラブから利用希望に応じて 30 分の繰り上げ等を実施しております。

○平成 25 年度から、中西小学校放課後児童クラブの開設を検討しています。

## 6 保育所職員の処遇改善

- ・各保育所職員の処遇改善を目的とした運営補助への対応をお願いします。

○昨年度、全国の公私立保育所の約 86%で、非正規雇用の保育士の方々が勤務している実態を認識しています。しかしながら、現状では、対応困難です。子ども・子育て新システムに代わる子ども・子育て支援の新たな取り組みの中で、保育士、幼稚園教諭、放課後児童指導員の処遇改善が検討事項の一つとしてあげられています。今後も、国が進める新制度の動向を注視してまいります。



## 市への要望書提出

副会長 矢富晋太郎（益田ひかり保育所）

『ペイ・フォワード』の精神で：

昨年10月26日、益田市内29の認可保育所の保護者アンケートの集計結果をもとに、市長に要望書を提出いたしました。

毎年少しずつ改善されてはいるものの、満足するに至っていないということで、今年も例年と同じような内容になりました。

ただ一つ、今年の特徴として、保育所職員の処遇改善がありました。

これは、日頃、私たち保護者が保育士さんに大変良くして頂いているという感謝の表れで、毎年声が上がっているならということ、保護者会連合会の希望もあり、要望に上げさせて頂きました。保育士さんが良くしてくれるので、保護者が安心して仕事に行ける、生活に余裕が生まれる。保護者の熱心な意見が保育所を良くする、保育士さんが働きやすくなる。こういうことなのでしょう。

ところで、私の好きな映画の一つに、『ペイ・フォワード』という作品があります。内容は、他人から受けた善意を次の3人の他人に渡していくというものです。保育研究会、保護者会連合会の皆さんは、本当に真剣に考え、活動しています。この善意の活動が次に渡り、その積み重ねが一つずつ益田の保育・子育てを良くしているのだと一年を通して感じました。

私もいつか人さまから頂いている善意を誰かに渡したいと思います。

うらコラム：

金森浦子先生の座談会に出席した方しか分かりませんが、知る人ぞ知る例の彼のその後について報告させて頂きます。

その後、例の彼は次男と共にお菓子のみの食事生活に入りました。

すると、彼は3日後、次男は5日後に急に発熱、嘔吐し、後2日間は寝込んでしまいました。偶然か否か、それはお菓子のせいだと納得してくれて、それ以来、人並みには食べるものの、大量に食べることはなくなりました。ただ根本的な解決にはなっているかは疑問ですが。。



## キャンドルフェスタについて

監事 田原佳裕（豊川保育園）

私の子供が保育園へ入園してから、毎年子供の作品やお祭りの雰囲気を楽しみに参加をしていました。今年度に関しては連合会の役員として午前中の準備から参加させていただき、中庭にキャンドルを設置するための準備やブース設置の準備などいろいろな作業を一緒に行い、こんな重労働を保育園の先生方は毎年やっていたのかということに改めて感じました。とても頭の下がる思いです。保護者会連合会の手伝いについては今年度より始めた新しい取り組みですが、その中で、保育園関係者だけではなく、シルバー人材センターの方や、島根県立大学の学生ボランティアの方が支えてくださっていることを知ることができ、益田市の保育に関わる方々の力を感じることができました。その力に甘えながらも、親としてしっかりと子供と向き合い、一緒に成長していければいいなと思っています。



## 万葉公園「おやこでさんぽ」

理事 佐々木忍（葵乳児園）

11月25日に平成24年度保護者会連合会主催 親子対象事業「親子でさんぽ」が万葉公園にて開催されました。前日までの雨模様が嘘のように当日は晴天となり「多少肌寒かったですが…」たいへん盛り上がった事業となりました。

当初は子供達の体力を考慮し各コース3箇所のチェックポイントでのウォークラリーでしたが、子供達の元気さにビックリ！全10箇所のチェックポイントを駆け回ってました。付いて廻る親御さん達がたいへんだったのではないのでしょうか？

さんぽが終了してからの豚汁&オニギリ美味しかったのではないのでしょうか。

来年度の保護者会連合会の皆さんがどのようなイベントを企画されるのかは、まだわかりませんが屋外イベント楽しかったと思います。「子供達と体を動かしながら交流する」考えてみて下さい。

最後に保護者会連合会の皆さん益田市保育研究会の諸先生方お疲れ様でした。

## 親子で散歩の感想

理事 田原正紀（鎌手保育所）

今回の「親子で散歩」は、「屋外で親と子どもが、体を動かして一緒に遊ぶ、楽しむ」というテーマのもと企画したもので、おもちゃ、ゲームなど多種多様な遊び道具があふれている今日に、あえて、そのことにこだわってみようという役員の思いがありました。「雨天中止でも仕方ない。」という思いでしたが、一番心配していた天気にも恵まれて「ほっと」しました。

特に、印象に残っているのは、駐車場からイベント会場に向かうときから、すでに子どもさんが笑顔になっていたことで、本当に楽しみにしていたのが伝わってきました。

普段の生活の中で自分自身が忙しいと、子どもと一緒に遊ぶことをおろそかにしてしまいがちですが、改めて、こうした時間が大切だと気づかされました。

そういう意味でも、良かったし、何より参加している人がそれぞれ楽しそうで本当に良かったです。ありがとうございました。



## 講演会を振り返って

監事 領家純（北仙道保育所）

今回、金盛浦子先生の「上手なほめ方、叱り方」の講演会に参加させてもらい、いろいろな家庭の子供に対する悩みを聞いて、どこの家庭にも同じ様な悩みを抱えている事がわかりました。

この講演会で金盛先生の話しを聞き、我が家の10年間の子育て論とはぜんぜん違っていました。この講演会から2日間は嫁さんも金盛先生の言われた通りに子供たちと接していました。子どもたちも「居心地がいいわ」と言っていました。3日目になると我慢ができなかった様で嫁さんがだんだんブチ切れ状態になり、前の生活に戻りました。

この講演会でとてもいい体験をさせていただきありがとうございました。

## 講演会を終えて

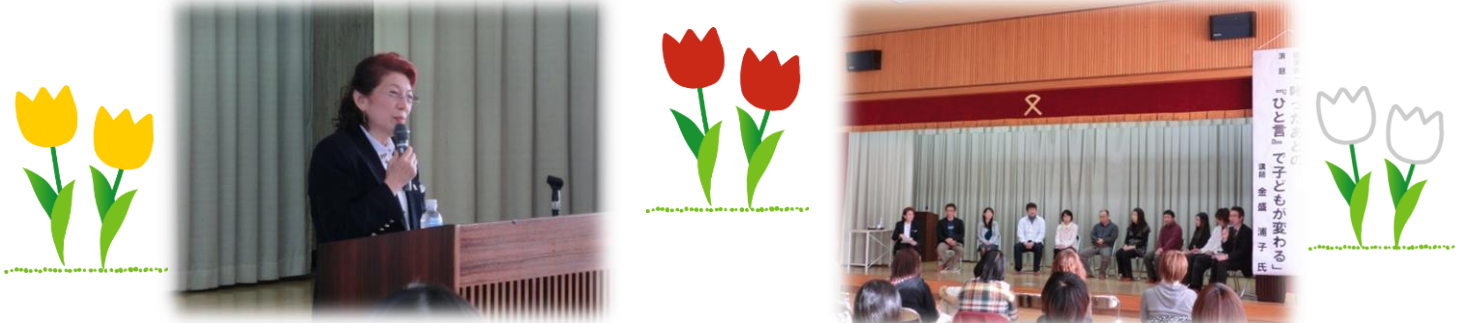
理事 廣兼祐治（東仙道保育所）

今年度の講演会は「叱る」をテーマとして、講師に金盛浦子氏とコーディネーターの南場安正氏を迎えて、「叱ったあとのひと言で子どもが変わる」を講演会と座談会の二部構成で1月12日に益田市総合福祉センターにて行いました。

講演会は「叱るより叱らない方がいい」の一言で始まり、金盛浦子氏に「子供の行動には子供の考えがあり、大人の考え方で駄目だとかこうすべきだと押し付けるより、『どうして欲しいのか？なぜかな？』と疑問に思い相手の事を理解する事が必要」と言われました。その為には「自分の感情を抑え、自分を認知する必要がある、いろいろな物事（仕事、経済、健康、人間関係等）に囚われる事無く、物事に囚われなければ許しが出来る」と言われ、自分もいろいろな事に囚われているから、自分だけの考えを押し付けるような人間に成っているのだと思わされました。

2部での南場安正氏を加えての座談会では、その事を踏まえ質問に対して一つ一つ丁寧に答えて頂き、会場の人にもわかりやすく説明され本当にいい時間を過ごす事ができました。今回は司会を担当する事になり、又、登壇者として参加をし質問をする事になり、普段講演会にはなかなか参加する機会も少ないので、本当に良い経験をする事が出来ました。

子育ては、子供の成長を助け見守るだけでなく、自分自身が日々学び共に成長していく事と、かわいい子供と接して本当に幸せだと思える事が大事だと改めて思いました。最後に、今年度、保護者会の役員をさせて頂きいろいろな事業に参加し沢山のひとと出会えて本当に良かったと思います。



## 平成24年度 保護者会連合会役員

会長：西村 満大（緑ヶ丘保育所）

副会長：矢富 晋太郎（益田ひかり保育所）、懸樋 和広（梅賀山保育園）

理事：田原 正紀（鎌手保育所）、佐々木 忍（葵乳児園）、廣兼 祐治（東仙道保育所）

監事：領家 純（北仙道保育所）、田原 佳裕（豊川保育園）